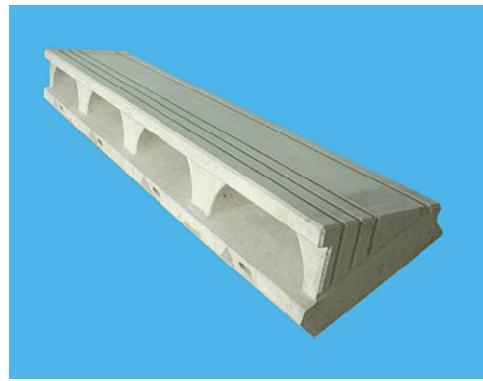


# スロープステッパー



工藤コンクリート株式会社

## スロープステッパー (階段工)

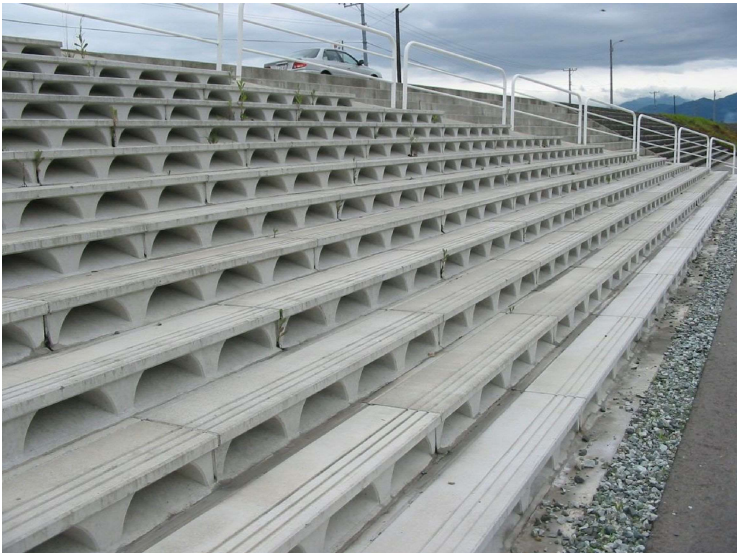
□法勾配	1:1.5	3 0 0 型
	1:2.0	4 0 0 型
	1:2.5	5 0 0 型

□連結構造で強固な護岸

□前面のアーチが水制効果

□蹴上げH=200 踏み板に滑り止め

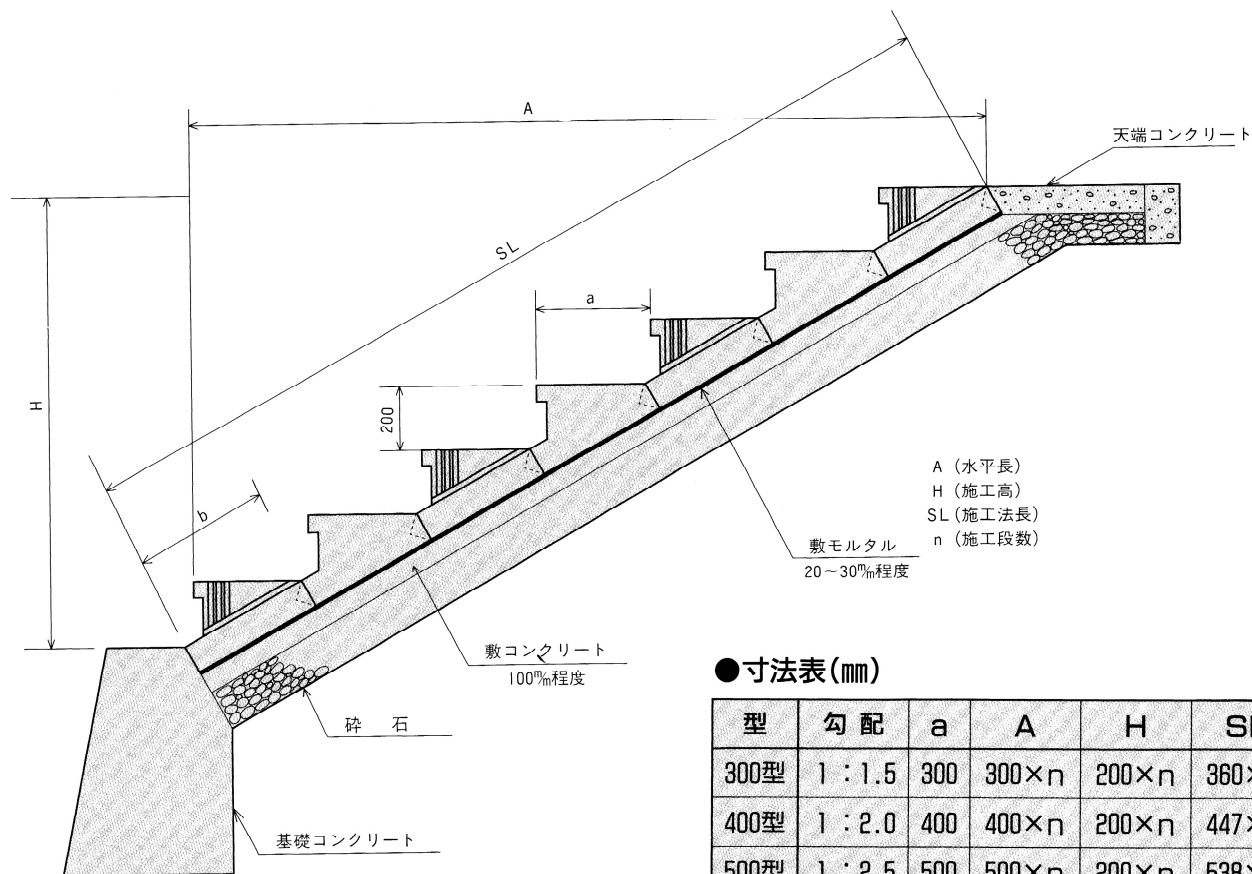






# スロープステッパー標準断面図

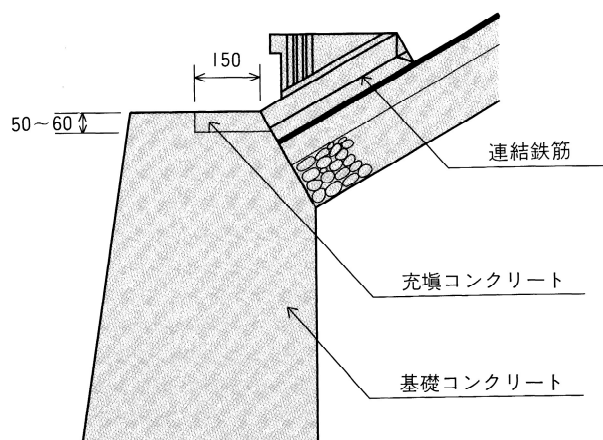
## ■スロープステッパー標準断面図



●寸法表(mm)

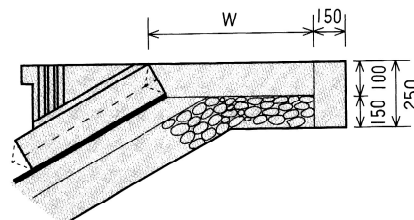
型	勾配	a	A	H	SL
300型	1 : 1.5	300	$300 \times n$	$200 \times n$	$360 \times n$
400型	1 : 2.0	400	$400 \times n$	$200 \times n$	$447 \times n$
500型	1 : 2.5	500	$500 \times n$	$200 \times n$	$538 \times n$

## ■基礎工



- (1)基礎工の天端を一部低くしておくと、基礎ブロックの据付や連結鉄筋の溶接が容易にできます。
- (2)基礎工は、地盤条件等によって、その大きさを調整して下さい。

## ■天端工



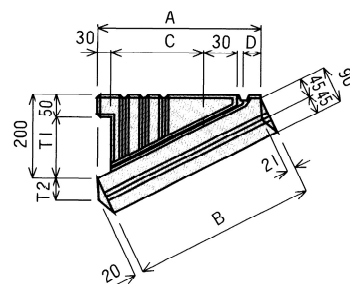
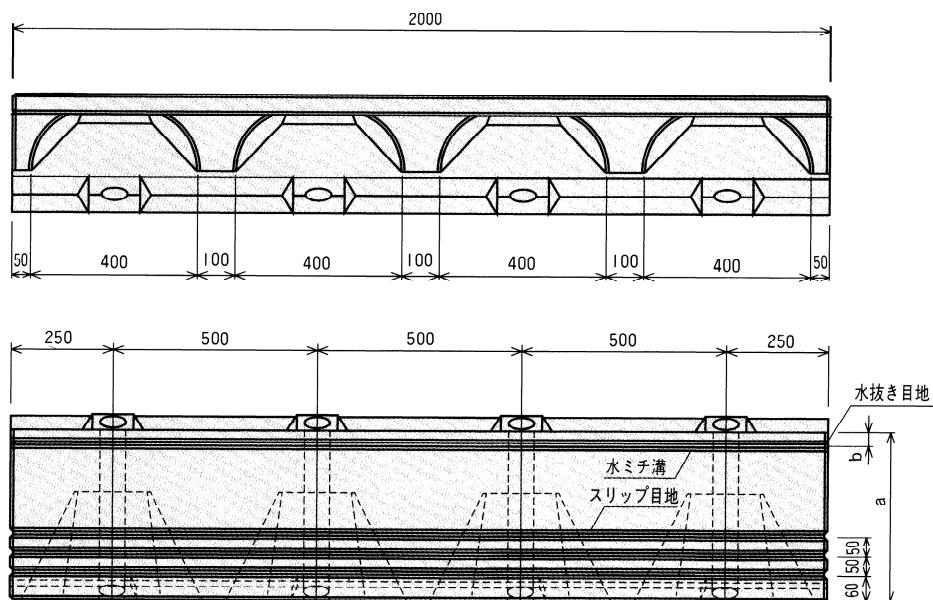
河川等の法止工として、天端コンクリートを打設する場合は、 $W=1000\text{mm}$ 以上として下さい。その他、条件に応じてWを決めて下さい。



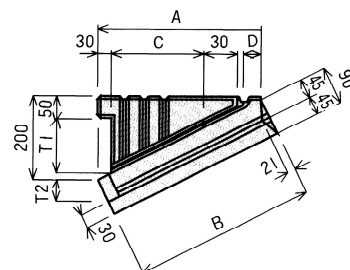
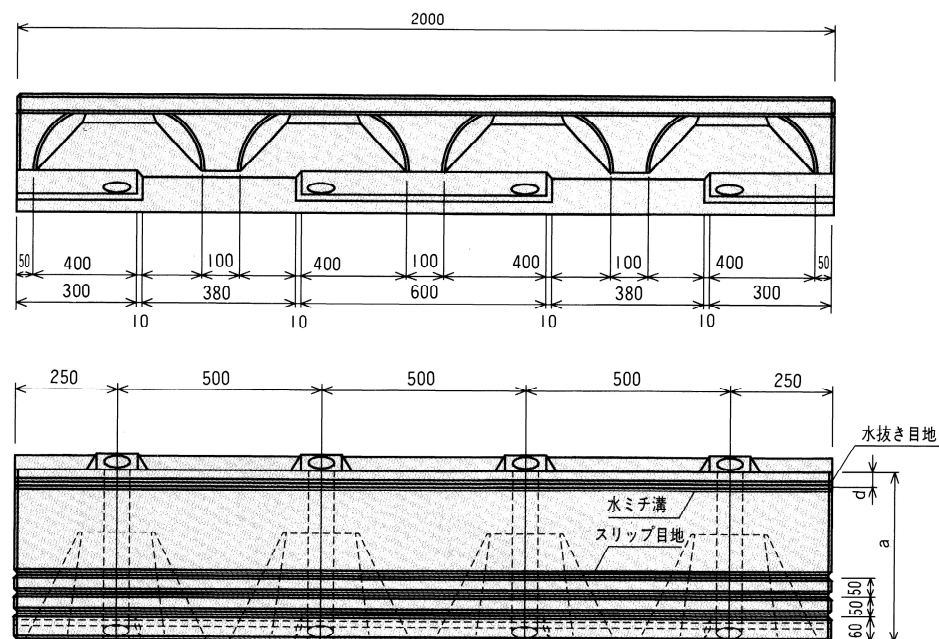
# スロープステッパー寸法図

## ■スロープステッパー寸法図

### ■基本ブロック



### ■基礎ブロック



# スロープステッパー部材規格

## ■スロープステッパー300型(勾配1：1.5用)

型	呼 び 名	寸 法 (mm)							参 考 重量(kg)	備 考
		A	B	C	D	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	L		
基 本	SS-300A	300	360	165	40	130	20	2000	230	
基本端部	SS-300AH							1000	115	基本×1/2
基 礎	SS-300B							2000	223	
基礎端部	SS-300BH							1000	112	基礎×1/2

## ■スロープステッパー400型(勾配1：2.0用)

型	呼 び 名	寸 法 (mm)							参 考 重量(kg)	備 考
		A	B	C	D	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	L		
基 本	SS-400A	400	447	225	50	135	15	2000	298	
基本端部	SS-400AH							1000	149	基本×1/2
基 礎	SS-400B							2000	292	
基礎端部	SS-400BH							1000	146	基礎×1/2

## ■スロープステッパー500型(勾配1：2.5用)

型	呼 び 名	寸 法 (mm)							参 考 重量(kg)	備 考
		A	B	C	D	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	L		
基 本	SS-500A	500	538	295	70	138	12	2000	366	
基本端部	SS-500AH							1000	183	基本×1/2
基 礎	SS-500B							2000	360	
基礎端部	SS-500BH							1000	180	基礎×1/2



# スロープステッパー数量算出式

スロープステッパーの数量算出は次の式によって求めて下さい。

種類	区分	延長が奇数mの場合	延長が偶数mの場合
スロープステッパー	基本 A	$(\frac{L-1}{2})(n-1)$	$(\frac{L-1}{2})(n_1-1)$ または $\frac{L}{2}(n_2-1)-\frac{n_2}{2}$
	基本×1/2 AH	$n-1$	$n_1-1$ または $n_2$
	基礎 B	$\frac{L-1}{2}$	$\frac{L}{2}$
	基礎×1/2 BH	1	0
連結鉄筋 P		$2L(SL+0.3)+L$	

L：施工延長(m)

SL：施工法長(m)

P：連結鉄筋長(m)

n：施工段数

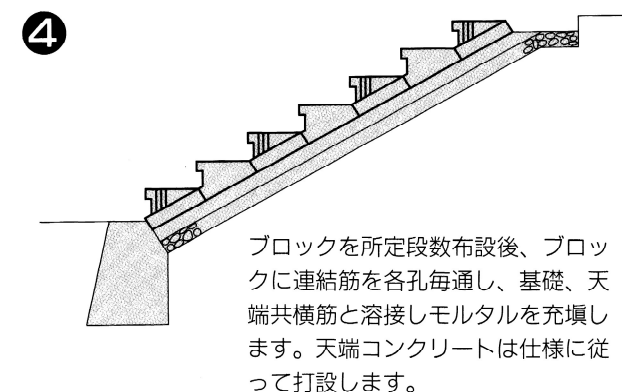
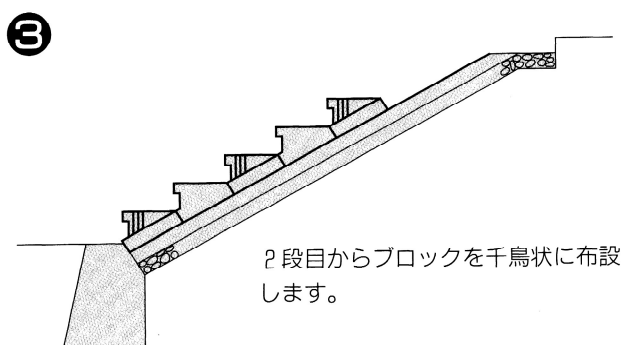
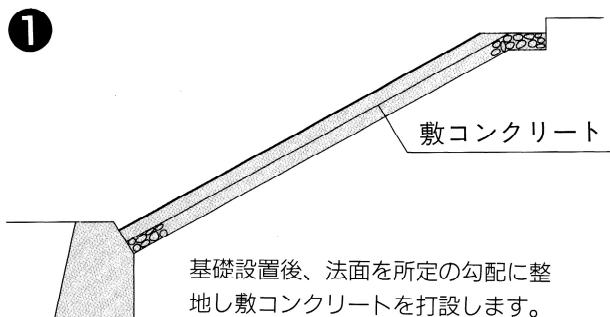
(奇数段のとき $n_1$ とし、  
偶数段のとき $n_2$ とする)



## ■数量算出例

区 分		単位	施 工 延 長(25.0m)					
施 工 段 数		段	10	11	12	13	14	15
施 工 法 長	300型	m	3.6	3.96	4.32	4.68	5.04	5.4
	400型		4.47	4.917	5.364	5.811	6.258	6.705
	500型		5.38	5.918	6.456	6.994	7.532	8.07
施 工 面 積	300型	㎡	90.0	99.0	108.0	117.0	126.0	135.0
	400型		111.75	122.925	134.1	145.275	156.45	167.625
	500型		134.5	147.95	161.4	174.85	188.3	201.75
スロープ ステッパー	基本 A	個	108	120	132	144	156	168
	基本×1/2 AH		9	10	11	12	13	14
	基礎 B		12	12	12	12	12	12
	基礎×1/2 BH		1	1	1	1	1	1
連 結 鉄 筋	300型	m	220.0	238.0	256.0	274.0	292.0	310.0
	400型		263.5	285.85	308.2	330.55	352.9	375.25
	500型		309.0	335.9	362.8	389.7	416.6	443.5

# スロープステッパー施工要領

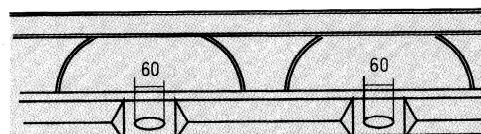


## ■端設工

小口止コンクリート	AH	A	A	A
	A	A	A	A
	AH	A	A	A
	A	A	A	A
	AH	A	A	A
	A	A	A	A
	BH	B	B	B
基礎コンクリート				
基礎栗石				

端部には小口止コンクリートを打設し、ブロックを固定します。

## ■曲線部の施工



連結孔は巾60mmのだ円形になっているので、法長3mで曲率半径で60m程度のカーブ施工が可能です。

## ■連結鉄筋

ブロックを据付完了後、最上級の連結孔から基礎面まで連結鉄筋を通し、横筋と溶接しモルタルを充填し仕上げます。

法長の長い場合は、4～5段据付けた状態で、鉄筋を通しブロックを積み上げていくと施工が簡単にできます。



# スロープステッパー施工歩掛(参考)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
(材料費)			300型	400型	500型	
ス テ ッ パ ー		個	13.9	11.2	9.3	
連 結 鉄 筋	φ9mm	kg				数量算出で算出して下さい
充 填 モ ル タ ル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.005	0.005	0.005	
吸い出し防止材	t=10mm	m <sup>2</sup>	10.6	10.6	10.6	ラップ長ロス6%
(布設費)						
世 話 役		人	0.12	0.11	0.11	
ブ ロ ッ ク 工		人	0.47	0.45	0.45	
普 通 作 業 員		人	0.60	0.56	0.56	
トラッククレーン		日	0.14	0.14	0.14	
雑 品		式	1.0	1.0	1.0	

- 注) 1. 基礎工、小口コンクリート、小口止コンクリート、法面整形、敷砂利は別途計上して下さい。  
 2. 小運搬の必要な場合は別途計上して下さい。  
 3. 製品重量、現場状況に応じて、トラッククレーンの機種を決めて下さい。  
 4. 敷コンクリートを打設しない場合は、吸出し防止材を御使用下さい。

$$S = 1 : 50$$


**S= 1 : 5 0**

